



たばたあずみ

Tel・Fax
550-6674



山根とみえ

Tel・Fax
550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax
558-9721

9月定例市議会

戸沢ひろゆき議員の一般質問

市長選挙が間近に迫る中、9月定例市議会における一般質問がおこなわれました。市長選挙も終了し日井市長が二選をはたしましたが、最後の日本共産党の戸沢ひろゆき議員の一般質問をお知らせします。

(1) 土地開発公社から市へ売却した郷土の恵みの森事業の今後の土地利用の取り組みについて

産・学・官の連携により、森の保全・活用と地域の活性化についての調査・研究を行うとともに、森づくり活動の担い手を育成することを目標とし、森づくり協議会を設置し事業の企画、実施などの具体的な方向を定めると述べています。そこで次のことを伺う。

- ① 市長は昔からコンサルタントに沢山の予算をつぎ込み「報告書」をつくらせてきた。その後失敗した例もある。恵みの森事業の計画も同様に行うのかを問いましたが、市はそのことについては答弁しませんでした。
- ② 菅生若宮地区、三内の歴史と文化の森地区は、森づくり事業に適しているが、市が公社健全化のため取得した他の丘陵地は、森づくり活動や担い手づくりにはむかない。どのような展望をもっているか。また官については東京都に要請し丘陵地を31億円で購入してもらい、東京都の事業として取り組むべきである。あきる野市長の「行政力の強さ」を発揮し東京都に要請する考えはないか伺う。

《答弁要旨内容》 ①のコンサルタントにまる投げしてきたことに答弁しませんでした。②及び③については、産・学・官の連携により、郷土の恵みの森事業は都の支援活用やNECフィールドイングからの支援を予定している。森林環境教育をすすめる環境都市あきる野をめざすと回答しました。



くもの巣がたくさんあり、台風で道路が水路になっていた。菅生若宮の森

(2) 首長としての4年間の施策について

- ① 行政改革の名の下に2年前に補助金の一割カットを行った。カットされた各種団体の声をどのように受け止めているかの問いに。三位一体改革で地方交付税の縮減により、一般財源が落ち込み、歳出では社会保障関係経費が増大している。市の財政について説明し一定の理解が得られてきた。これからも超高齢化社会の進展に伴う行政ニーズへの対応や災害等に備えるために行政改革を着実に進めると回答しました。
- ② 田中市長時代の学校耐震化計画を引き継ぎ、今年度すべての校舎・体育館が完了する。継続して事業を進めたことに感謝する。引き続いてすべての教室のエアコン設置が求められている。具体的計画を進める必要がある。市長の考えを伺う。市は、国や都の冷房化補助金の動向を見極め市の財政状況も踏まえ今後一定の方向を出したい。
- ③ ファーマーズセンターの大規模改造計画が強く求められている。農を守り発展させることは、環境都市をうたうあきる野市として強く求められている。市長の考えを伺うと、今後も先進市を視察し、消費者との交流イベントなど開き多様な方々の意見を聴きながら整備に向け取り組むと回答しました。
- ④ 東京都の土地である秋川高校跡地は多摩国体馬術競技場として使われた後、今でも産業系複合型市街地にする取り組みをする考えなのか、大震災後で見直すべきではないかの質問には、相変わらず圏央道に近接する特性や多摩シリコンバレー構想を踏まえ産業系の土地利用に向け東京都と調整していくと回答しました。



法律相談

10月27日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。